



善進 (ぜんしん)

令和4年度

稲沢市立祖父江中学校

第3学年通信 12月号

天知る 地知る 我知る 人知る

内側を整える

4年に一度のサッカーW杯が中東カタールで開催されています。スポーツに関心のある人は、勉強の合間の気分転換に見ている人もいるかもしれません。日々、鍛錬を重ねてきたプロ選手のプレイに注目が集まります。

その会場で、もう一つ注目を集めているのが、日本人サポーターによるごみ拾い活動です。私たちは小さい頃から、「来たときよりも美しく」「使う前より美しく」を合い言葉のように身近な大人から教えられてきました。家族で外出に出かけた時には、お店の方が片付けやすいよう食器やおしぼり等をまとめている家庭もあることでしょう。教育現場では、遠足や宿泊学習等で訪れた場所でゴミ拾いや掃除をしてきました。公立の義務教育学校では、清掃活動も毎日当たり前に行われています。その慣習は諸外国にはほとんどなく、海外の教育関係者が視察に訪れるほどです。

1995年のメキシコ大会から続く日本人による試合後のごみ拾いですが、今回は、日本チームが出場していない試合でも、日本人サポーターが動いたことが報じられました。自分が汚したわけではないけど、そのまま見て見ぬふりをして帰るのは、何か心がスッキリしません。その空間も自分の心もきれいにするのがごみ拾いであり、掃除なのです。そうして染みついたその人の「日本人スピリット」ともいべき道徳心が、国や文化、宗教の違いを越え称賛されているのです。時代が変われば変化するのはたくさんありますが、こういった姿を尊ぶ思いは、不変なものであるように思います。

ひたむきに掃除をする姿は美しいです。この学年にも、授業が終わったらすぐ活動場所に移動し、汚れを探して黙々と掃除に打ち込んでいる人がいます。それを4月当初から続けています。素晴らしいことです。そういう人は、目に見えない「徳」を積んでいるのだと思います。



外側を整える

コロナ禍になり3年。それまで制服で学校生活を送っていたものが、体育の着替え時の密を避けることを目的に体操服やジャージで過ごすことも可能となっているため、制服で過ごす日が限られています。しかし、大切な場面は正装である制服です。今後、制服が好ましい場面は今以上に増えてきます。自分の制服姿をお家の方に確認してもらいましょう。ボタンやスナップがとれていたり、汚れが目立ったりしている箇所はありませんか？成長し、ズボンやスカートの丈が短くなったままになっている人はいませんか？髪も普段からスッキリ整えておきましょう。



体調を整える

人の行動範囲が広がると、感染症も増えていく傾向があります。学習機会を確保できるよう、基本的な感染症対策の手を緩めず過ごしていきましょう。